

東日本研修センター公開講座の実施について

1. はじめに

総務省主催の平成27年度「第31回情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて、光ファイバ通信基礎知識の説明と光ファイバ接続等の体験が出来る公開講座を実施しました。

2. 実施概要

(1) 講座名

「ブロードバンドサービスを支える技術と設備～情報通信設備の紹介と光ファイバ接続の体験～

(2) 実施日 平成27年5月16日（土）

13:00～16:00

(3) 参加者数 11名（写真1）

(4) 内容

i. 光ケーブル融着接続体験

（写真2～3）

ブロードバンドサービスを提供する日頃目にする事が出来ない光ファイバ心線やクロージャーの内部等設備の内側等について紹介した。

光ファイバの接続体験では放送と通信の融合であるフレッツテレビを視聴中の光回線を切断・再接続し、正常にフレッツテレビを視聴できる事を体験して頂いた。

ii. 安全実習設備、装置等の紹介及び体験

（写真4）

昨年に引き続き人身事故撲滅及び設備事故撲滅に向けた安全実習設備等の見学と体験を通じて、情報通信エンジニアリング協会での「安全向上への取り組み」について紹介しました。

主な実施事項は次の通りです。

- マンホール内に入溝前の酸素欠乏測定及び入溝体験
- 高所作業車の搭乗体験
- ダミ人形を用いた高所からの転落衝撃の見学
- 短絡体験装置を用いた電源線接続作業による設備への影響

3. 実施状況

公開講座の様態を写真でご紹介します。



写真1 開講模様



写真2 光ファイバケーブル等の概要説明



写真3 フレッツテレビの光ファイバケーブル接続の体験



写真4 安全向上への取り組み

4. 参加者の主な感想

- ・光接続は、細かい作業なので時間を要すると思っていたが意外と短時間で来てフレッツテレビを観る事が出来た。
- ・ブロードバンドサービスを提供する設備・安全実習設備等の紹介及び高所作業車の搭乗体験等、全てが新鮮且つ初体験で感動した。
- ・道路に設置されているマンホールは、普段何気なく見る事があるが、研修用マンホール内に入り、その構造や意外と広い事に感動した。
- ・マンホール内入溝・高所作業車への搭乗等から安全向上に対する情報通信エンジニアリング協会の取り組みを理解する事が出来た。

5. おわりに

参加者に光ファイバケーブル接続の体験をフレッツテレビを視聴中の光回線を使う事で情報通信サービスを支える技術を理解して頂くと共に安全実習設備、装置等の紹介・体験で安全向上に対する情報通信エンジニアリング協会についても関心を持って頂いた。また、東日本研修センターの研修事業についても近隣の参加者により理解を頂いた。